

# FIC Viewer 1.2.282

## 初めて使う方のガイド - Windows x64 / Windows XP x86

リモートアクセスが初めてでも、ここから始められます。準備するパソコン、入力する情報、遠隔画面の開き方、安全な終了方法を説明します。どの翻訳でも、アプリのボタン名は英語のまま記載します。

### 1. 2台のパソコンの役割を知る

| 手順  | 操作と確認する結果                                                                                 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1.1 | 操作元は、あなたが直接使うパソコンです。その <b>FIC Viewer</b> ウィンドウに接続先の一覧が表示されます。                             |
| 1.2 | 接続先は、画面を見たり遠隔操作したりするパソコンです。接続先にも <b>FIC Viewer</b> のインストールが必要です。                          |
| 1.3 | <b>Agent</b> は接続先でバックグラウンド動作し、利用可能かの確認に応答して接続を補助します。画面の画像は表示用コンポーネントが提供します。               |
| 1.4 | Setup が Viewer、 <b>Agent</b> 、必要なコンポーネントをまとめてインストールします。補助 EXE を個別にインストールする必要はありません。       |
| 1.5 | どちらのパソコンも操作元にも接続先にもなれます。一覧に登録しただけでは、別のパソコンの <b>Agent</b> はインストールも有効化もされません。               |
| 1.6 | このリリースは1つの共通パッケージを使います。新規インストールは空の一覧から始まります。更新では既存一覧とパソコン・アクセス・ペアリング設定を保持するため、別の個人版は不要です。 |

### 2. インストール前に準備する

| 手順  | 操作と確認する結果                                                                                                                          |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2.1 | OS に合う公式 Setup を使います。COMPLETE ZIP を入手した場合は通常のフォルダーへ展開してから Setup を開き、ZIP 内から直接実行しないでください。                                           |
| 2.2 | 新しい公式 Setup EXE には、インストールに必要な実行ファイルと PDF マニュアルが含まれます。COMPLETE には所有者・開発者用のソースとビルド資料もあります。通常の利用者はそのスクリプトを実行せず、Setup もそれらをインストールしません。 |
| 2.3 | 対応する 64 ビット <b>Windows</b> には <b>WIN_x64</b> 、 <b>Windows XP SP3</b> 32 ビットには <b>XP_x86</b> を選びます。各パソコンに合う版を使ってください。               |
| 2.4 | 最初は2台を同じ信頼できる LAN に接続し、接続先の電源を入れて試します。すでに動作しているパソコンの操作に <b>Wake-on-LAN</b> は不要です。                                                  |
| 2.5 | サービスや保護された画面用コンポーネントのため、管理者の協力を得られるようにします。Setup 中に <b>Windows</b> の許可が必要になる場合があり、XP のサービス導入には管理者アカウントが必要です。                        |

| 手順  | 操作と確認する結果                                                                                                             |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2.6 | 接続先のコンピューター名、現在の IPv4、ネットワーク・場所の名前を控えます。すでに <b>FIC Viewer</b> を使っている場合、まず <b>machines.ini</b> を安全なバックアップフォルダーへコピーします。 |

### 3. 各パソコンにインストールする

| 手順  | 操作と確認する結果                                                                                                                |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3.1 | Windows x64 では、展開したパッケージのメインフォルダーにある <b>FICViewer_Setup_WIN_x64.exe</b> をダブルクリックします。                                     |
| 3.2 | XP では <b>FICViewer_Setup_XP_x86.exe</b> を使います。2つの版は相互接続できませんが、Setup ファイルは異なります。                                          |
| 3.3 | Setup のメッセージを読み、このパッケージで予期される <b>Windows</b> の許可要求を承認します。再実行する前に完了を待ってください。                                              |
| 3.4 | ユーザー用のインストール先は通常 <b>%LOCALAPPDATA%\FIC Viewer</b> です。古い OS では対応するアプリケーションデータフォルダーになる場合があります。実際の場所は <b>About</b> に表示されます。 |
| 3.5 | Setup はデスクトップと <b>Start Menu</b> のショートカット、アンインストール項目、自動起動設定を作成します。通常は終了時に Viewer が開きます。                                  |
| 3.6 | Setup が設定を要求した場合、Viewer のファイルは導入済みですが、 <b>Windows</b> サインイン前にアクセスするための <b>Agent</b> 設定は未完了です。第5節の本機登録を済ませ、Setup を再実行します。 |
| 3.7 | XP の起動 <b>Agent</b> の警告は、起動サービスの設定が完了しなかったことを示します。管理者アカウントから XP Setup を再実行し、警告を導入完了と解釈しないでください。                          |
| 3.8 | もう一方のパソコンでもインストールします。操作元だけに導入しても、未準備の接続先には遠隔アクセスできません。                                                                   |

### 4. Viewer を開き、ウィンドウを見つける

| 手順  | 操作と確認する結果                                                                                             |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4.1 | デスクトップまたは <b>Start Menu</b> のショートカットから <b>FIC Viewer</b> を開きます。タイトルがバージョン <b>1.2.282</b> であることを確認します。 |
| 4.2 | ウィンドウが見えない場合、 <b>Windows</b> の時計付近の通知領域と隠れたアイコン欄を探します。 <b>FIC Viewer</b> アイコンをダブルクリックすると表示されます。       |
| 4.3 | アイコンを右クリックするとメニューが開きます。メインウィンドウを閉じると通知領域に隠れます。Viewer を終了するには <b>Exit</b> を使います。                       |
| 4.4 | メイン一覧には登録済みのパソコンがあります。編集、起動、接続の前に、目的の行を1回クリックして選びます。                                                  |
| 4.5 | <b>Refresh status</b> は利用可能かを調べ、バックグラウンド確認も一覧を更新します。 <b>Agent</b> の確認であり、この操作だけで遠隔デスクトップは開きません。       |

## 5. 今使っているパソコンを登録する

| 手順  | 操作と確認する結果                                                                                                                           |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5.1 | 接続先のパソコン本体で <b>Add / Edit</b> を開きます。選択済みの行があればその内容が出るので、別の登録には <b>New</b> を押します。                                                    |
| 5.2 | <b>Detect this PC</b> で、このパソコン自身の名前、IPv4、Ethernet MAC を読み取ります。別の遠隔パソコンを検索する機能ではありません。                                               |
| 5.3 | 利用可能な Ethernet アダプターが見つからない場合、接続と有効化を確認します。見つかった情報は編集画面のメッセージで分かります。                                                                |
| 5.4 | <b>Network / Location</b> は手入力します。例は Office です。同じ LAN のパソコンには同じ名前、別拠点には別の名前を使います。                                                   |
| 5.5 | <b>Machine name</b> 、 <b>Hostname</b> 、IPv4 を本機の実際の情報と照合します。現在有効な IP を使い、ルーターのアドレス予約を利用すると固定しやすくなります。                               |
| 5.6 | <b>Agent port</b> は通常 49152 のままです。 <b>Wake-on-LAN</b> が不要で Ethernet MAC がない場合は <b>Enable Wake-on-LAN</b> を外します。それ以外では保存に MAC が必要です。 |
| 5.7 | <b>Save</b> を押します。名前、IPv4、 <b>Network / Location</b> は必須です。保存後に一覧へ表示されます。入力の警告があれば直してから進みます。                                        |
| 5.8 | Setup が本機設定を求めている場合、ここで対応する Setup を再実行して起動 <b>Agent</b> を準備します。接続を受ける各パソコンで個別に行います。                                                 |

## 6. 操作元に接続先を追加する

| 手順  | 操作と確認する結果                                                                                                    |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6.1 | 操作元に戻り、 <b>Add / Edit</b> 、 <b>New</b> の順に開きます。選択中の登録を上書きしないためです。                                            |
| 6.2 | <b>Machine name</b> に Office-PC など分かりやすい名前を入れます。 <b>Hostname</b> と IPv4 は接続先の実値を入力し、操作元の情報を入れないでください。        |
| 6.3 | 接続先の <b>Network / Location</b> を入力します。同じ LAN の名前をそろえることで、適切な経路の選択を助けます。                                      |
| 6.4 | 接続先の設定で指定されていなければ <b>Agent port</b> は 49152 にします。基本ポートが使えない場合、 <b>Agent</b> は 49153 を使用できます。                 |
| 6.5 | <b>Wake-on-LAN</b> を使う場合は接続先の Ethernet MAC を入れ、 <b>Enable Wake-on-LAN</b> を選びます。起動済みのパソコンへの通常接続では外してもかまいません。 |
| 6.6 | <b>Can act as a WOL Relay</b> は、そのパソコンが自身のネットワークで起動要求を中継できることを表します。用途が分からない場合は変更しません。                        |
| 6.7 | <b>Save</b> を押し、新しい行を選んで <b>Refresh status</b> を押します。利用可能にならない場合は、何度も試す前に第18節を確認します。                         |

| 手順  | 操作と確認する結果                                                                                |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6.8 | ここで遠隔接続先を <b>Detect this PC</b> から入力しないでください。操作元が検出されます。接続先の所有者または接続先の Viewer で情報を確認します。 |

## 7. 利用状況の表示を読む

| 手順  | 操作と確認する結果                                                                                                     |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7.1 | <b>ONLINE / AGENT</b> は <b>Agent</b> から応答があった状態です。 <b>HD</b> を要求できますが、画面コンポーネントと経路も正常である必要があります。              |
| 7.2 | <b>CONNECTED</b> は <b>HD</b> セッションが開いている状態です。セッションのボタンで既存の画面を手前に出せます。                                         |
| 7.3 | <b>STARTING</b> は起動要求が進行中です。 <b>Windows</b> の起動完了を示すわけではなく、実際の <b>Agent</b> 応答を待ちます。                          |
| 7.4 | <b>OFFLINE</b> は、確認できた情報からは準備済みと判断できない状態です。電源とネットワークを調べ、条件を満たす場合は <b>Wake</b> を使います。                          |
| 7.5 | <b>ONLINE / AGENT ?</b> はパソコンの存在が見えても、現在の経路では <b>Agent</b> が確認できていない状態です。接続先の導入、 <b>Agent</b> 、ファイアウォールを調べます。 |
| 7.6 | 確認が終わるまで一覧は変わることがあります。起動、再起動、遠隔操作を要求する前に選択したパソコン名を確認します。                                                      |

## 8. 最初の遠隔画面を開く

| 手順  | 操作と確認する結果                                                                                                                                             |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8.1 | 接続先を起動し、ネットワークと準備を済ませます。操作元でその行を選び、 <b>Connect HD</b> を押します。                                                                                          |
| 8.2 | アクセスパスワードが求められたら、接続先に設定したものを入力します。アプリ用のパスワードと <b>Windows</b> サインイン用は別です。                                                                              |
| 8.3 | 遠隔画像と接続済みの表示を待ちます。接続中という表示だけでは、まだ使用可能なセッションではありません。接続先の画面右下に小さな通知が表示されます。通知を閉じると、セッションが有効な間は細い縦向きの <b>FIC Viewer</b> バーが残ります。最後のセッションが終了すると、両方とも消えます。 |
| 8.4 | 遠隔画像の内側をクリックすると、マウスとキーボードの入力先になります。入力前に <b>HD</b> ウィンドウの接続先名を確認します。                                                                                   |
| 8.5 | 初回は接続先の普通のフォルダーやテキストエディターを開いて試します。そのパソコンの前にいるときと同じように作業を保存します。                                                                                        |
| 8.6 | <b>HD</b> ウィンドウを閉じると接続が終了します。接続先の電源を切ったりアンインストールしたりする操作ではありません。 <b>Agent</b> は後の許可された接続を受けられます。                                                       |

## 9. 画面表示とキーボードを調整する

| 手順  | 操作と確認する結果                                                                                                            |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9.1 | <b>Fit to Window</b> は画像をウィンドウに収めて表示します。画面の一部が見えない場合、まずこれを使います。                                                      |
| 9.2 | <b>1:1 / Native</b> は元の倍率で表示します。接続先の大きな画面は、小さな操作元ウィンドウには全部収まらない場合があります。                                              |
| 9.3 | <b>Full Screen</b> は操作元の画面全体を使います。 <b>Esc</b> で全画面表示を終了します。                                                          |
| 9.4 | 接続先に複数モニターがある場合、 <b>Next Monitor</b> で表示対象を切り替えます。                                                                   |
| 9.5 | <b>HD</b> の <b>Refresh</b> は新しい画像を要求します。メイン一覧の <b>Refresh status</b> とは別の機能です。                                       |
| 9.6 | 入力はアクティブな <b>HD</b> に送られます。手元のアプリをクリックするとローカル作業に戻り、必要な遠隔画面をクリックすると遠隔入力を再開できます。                                       |
| 9.7 | 音声や一部の保護された <b>Windows</b> 画面は、接続先のコンポーネントと <b>Windows</b> セッションに依存します。デスクトップが見えても、すべてのパソコンで音声・サインイン機能が使える保証にはなりません。 |

## 10. テキストをコピーし、ファイルを転送する

| 手順   | 操作と確認する結果                                                                                                                                    |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10.1 | <b>HD</b> ウィンドウの <b>Copy / Paste</b> ボタンは説明を開きます。このボタン自体は転送を開始しません。クリップボード同期は、接続済みでアクティブな <b>HD</b> に従います。一度に意図した接続先で作業し、私的情報のコピー前に名前を確認します。 |
| 10.2 | テキストを送るには手元のアプリでコピーし、接続先の <b>HD</b> をアクティブにして入力欄をクリックし、 <b>Paste</b> または <b>Ctrl+V</b> を使います。                                                |
| 10.3 | 受け取るには遠隔アプリでコピーし、ローカルの貼り付け先に移って貼り付けます。テキストや書式の対応は、使用可能なクリップボード形式によります。                                                                       |
| 10.4 | ファイル・フォルダーを送るには、ローカルのファイル管理画面で選んで <b>Copy</b> または <b>Ctrl+C</b> を使います。接続先の <b>HD</b> をアクティブにし、転送完了表示を待ちます。                                   |
| 10.5 | 遠隔画面で目的の保存先フォルダーを開き、 <b>Paste</b> または <b>Ctrl+V</b> を使います。 <b>Copy</b> でデータを転送し、 <b>Paste</b> で選んだ場所に置きます。                                   |
| 10.6 | 受信するには遠隔ファイル管理画面で選んでコピーします。転送完了までその <b>HD</b> をアクティブに保ち、その後ローカルフォルダーへ移って貼り付けます。                                                              |
| 10.7 | <b>Cancel / Clear CP</b> は待機中のコピー・貼り付けや転送バッファを取り消し・消去します。元ファイルを削除するコマンドではありません。                                                              |
| 10.8 | 元データを削除する前に、完了と保存先を確認します。転送を取り消した場合は新しく <b>Copy</b> して再実行します。古いクリップボード内容が自動再送されると思われるのでください。                                                 |

## 11. 遠隔システム操作に注意する

| 手順   | 操作と確認する結果                                                                                           |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11.1 | 接続先に <b>Ctrl+Alt+Del</b> を要求するには、 <b>HD ツールバー</b> のボタンを使います。実際のキーの組合せは通常、操作元 <b>Windows</b> が処理します。 |
| 11.2 | 接続先や経路が対応しない場合、ボタンを使えないことがあります。送信済みでも画面遷移が確認できたとは限らないので、結果を読みます。                                    |
| 11.3 | <b>Restart</b> は名前が表示された接続先を再起動します。遠隔作業を先に保存し、違うパソコンを再起動しないよう確認メッセージを読みます。                          |
| 11.4 | 再起動でセッションは切れます。 <b>Windows</b> と <b>Agent</b> の復帰を待ち、利用可能になったら再接続します。失敗は通知されるので、成功したと決めつけないでください。   |

## 12. 電源が切れたパソコンを起動する

| 手順   | 操作と確認する結果                                                                                         |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12.1 | <b>Wake-on-LAN</b> には対応ハードウェア、ファームウェア・ネットワークアダプターの有効設定、Ethernet アダプターへの給電、正しい Ethernet MAC が必要です。 |
| 12.2 | 接続先の起動中に通常の <b>HD</b> 接続を確認してから、遠隔起動を試します。遠隔操作アプリの導入だけで非対応ハードウェアが起動対応になるわけではありません。                |
| 12.3 | 接続先の行を選び <b>Wake</b> を押します。登録した IPv4 と MAC は、その接続先のものでなければなりません。                                  |
| 12.4 | 成功メッセージは起動要求の送信を確認するものです。 <b>Connect HD</b> を使えたと判断する前に <b>ONLINE / AGENT</b> を待ちます。              |
| 12.5 | 別拠点の起動には使用可能な経路と、その拠点のネットワークで動く中継パソコンが必要です。拠点全体が電源オフなら中継できません。                                    |
| 12.6 | 起動しない場合は電源、Ethernet、ファームウェア、保存した MAC を調べます。無関係な設定を変更せず、ネットワーク間の経路は管理者に相談します。                      |

## 13. アクセスパスワードと保護を設定する

| 手順   | 操作と確認する結果                                                                                          |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13.1 | 所有しているか管理を許可されたパソコンだけにアクセス設定を行います。遠隔操作とクリップボード共有では接続先の作業やデータへアクセスできます。                             |
| 13.2 | 接続先本体で本機の登録を編集し、 <b>Require an access password</b> を選んでパスワードを入力し保存します。そのパソコンの <b>Agent</b> を設定します。 |
| 13.3 | 操作元では接続先の登録を編集し、接続先で設定済みのパスワードを使います。遠隔登録の編集で別パソコンのパスワードを変更することはできません。                              |

| 手順   | 操作と確認する結果                                                                                                              |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13.4 | <b>Remember password on this PC</b> は、この Windows アカウントで後のために保存します。共用の操作元では外しておき、新しいセッションごとに入力できるようにします。                |
| 13.5 | パスワード欄が空なら既存のパスワードを保持します。空欄で保存すれば保護が解除されると考えないでください。                                                                   |
| 13.6 | ファイアウォールとウイルス対策は有効に保ちます。 <b>Agent</b> は 49152 または 49153、画面・補助チャンネルは別のアプリ用ポートを使用します。管理者と必要なネットワークだけで許可し、むやみに公開しないでください。 |

## 14. Viewer と Agent の任意の秘密ペアリング

| 手順   | 操作と確認する結果                                                                                                                                      |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 14.1 | <b>Private pairing</b> は同じ秘密コードで操作元 Viewer と接続先 Agent を結びます。アクセスパスワードとは別の機能です。                                                                 |
| 14.2 | 操作元で接続先を選び <b>Private pairing</b> を開きます。 <b>Generate code</b> または合意したコードの貼り付けを使い、 <b>Save in Viewer for the selected target</b> を選びます。         |
| 14.3 | コードは信頼できる非公開の経路で渡します。持っている人はペア接続を要求できるため、スクリーンショット、公開パッケージ、サポートログに載せないでください。                                                                   |
| 14.4 | 接続先本体で <b>Private pairing</b> を開き、同じコードを入れます。 <b>Apply to this PC's Agent (Windows confirmation)</b> は、選択した遠隔パソコンではなく、そのウィンドウを開いているパソコンを変更します。 |
| 14.5 | ペア接続だけを許可する場合、適用前に <b>Require paired connections for this PC's Agent</b> を選びます。予期される Windows の許可を承認し、結果を確認します。                                 |
| 14.6 | ペアリング後は <b>HD</b> を閉じて再接続します。設定済みのアクセスパスワードは引き続き必要です。ペアリングはパスワードの代わりにはなりません。                                                                   |
| 14.7 | ペアリング必須の接続先は、古い Viewer や未登録 Viewer を拒否する場合があります。適用失敗時は保護を維持し、接続先の版とアカウント権限を確認します。                                                              |

## 15. ヘルプとオフラインのガイドを開く

| 手順   | 操作と確認する結果                                                                                                                                                      |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 15.1 | メインまたは <b>HD</b> の <b>Help</b> を押します。 <b>Getting started</b> は短い入門、 <b>Technical documentation</b> は英語の技術情報、 <b>Check for Updates</b> は新版確認を開きます。操作項目は英語のままです。 |
| 15.2 | <b>Open PDF manual</b> で言語を選びます。対応する PDF が、インストール済みの Manuals フォルダーから既定の PDF リーダーで開きます。インターネット接続は不要です。                                                          |

| 手順   | 操作と確認する結果                                                                                                 |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 15.3 | PDF が開かない場合は <b>Windows</b> で既定の PDF リーダーを設定します。ガイドが見つからない、または破損している場合は、公式 Setup を再実行して付属のマニュアルを復元してください。 |
| 15.4 | <b>About FIC Viewer</b> で版、プラットフォーム、インストール先を確認できます。問い合わせには版と正確なエラーを伝え、パスワード、ペアリングコード、私的な一覧は含めないでください。     |

## 16. 一覧の非公開バックアップを保存する

| 手順   | 操作と確認する結果                                                                                               |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 16.1 | インストール先の <b>machines.ini</b> が現在のパソコン一覧です。更新や別パソコンへの移行前に、安全で非公開の場所へコピーします。                              |
| 16.2 | <b>About FIC Viewer</b> でインストール先を調べ、 <b>Windows File Explorer</b> でそのパスを開き、 <b>machines.ini</b> を見つけます。 |
| 16.3 | <b>Copy</b> を使い、非公開のバックアップフォルダーを開いて <b>Paste</b> します。使用中のファイルはインストール先に残し、バックアップフォルダー名に日付を付けると後で分かります。   |
| 16.4 | パソコンの接続設定を含む補助の <b>machines-defaults.ini</b> を出力できます。使用中の <b>machines.ini</b> とは別であり、非公開で保管してください。      |
| 16.5 | 一覧のバックアップは接続情報です。 <b>Agent</b> の導入や、そのパソコンのパスワード・ペアリング設定の代わりにはなりません。接続先を個別に準備します。                       |
| 16.6 | 一覧を戻すと私的なアドレスや名前も戻ることがあります。個人用 <b>machines.ini</b> を公開配布用パッケージへ入れないでください。                               |

## 17. 更新を確認して新しい版を入れる

| 手順   | 操作と確認する結果                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 17.1 | <b>FIC Viewer</b> は起動するたびにバックグラウンドで更新確認します。 <b>Help &gt; Check for Updates</b> から確認できます。確認だけではダウンロードもインストールもしません。                                                                                                                                           |
| 17.2 | 更新元は公式 <b>FICViewer-Updates</b> GitHub リリースです。未公開、ネットワーク不通、確認失敗の場合は現行アプリを使い続けられます。確認できないことは最新版の証明ではありません。                                                                                                                                                   |
| 17.3 | 新版が見つかったら版と確認メッセージを読みます。 <b>Yes</b> で対応する <b>Windows x64</b> または <b>XP x86</b> の Setup をダウンロードし、 <b>No</b> で更新せず続けます。非公開の更新をダウンロードするには、求められたときにサイトのダウンロード用アクセスパスワードを入力してください。このパスワードは接続先PCの <b>Agent</b> のパスワードや <b>Windows</b> のサインインパスワードとは別のもので、保存されません。 |

| 手順   | 操作と確認する結果                                                                                                                                                                                |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 17.4 | 更新の起動前に、公開された <b>SHA256</b> と、指定された既存 FIC 証明書による有効な <b>Windows Authenticode</b> 署名が必要です。検証から起動までファイルの置き換えを防ぎます。                                                                          |
| 17.5 | 未署名、改変、信頼されていないファイル、別発行元のダウンロードは拒否され、 <b>FIC Viewer</b> は動き続けます。警告を回避して別の未検証ファイルを実行しないでください。                                                                                             |
| 17.6 | 検証には、そのパソコンで既存の私用・自己署名 FIC 証明書が信頼されている必要があります。信頼の設定は所有者または管理者に証明書の本人性を確認してもらいます。                                                                                                         |
| 17.7 | <b>Windows XP</b> では <b>GitHub</b> 更新に必要な現代の <b>HTTPS/TLS</b> や署名検証が使えない場合があります。安全な確認ができなければ、対応する新しいパソコンで公式 <b>XP Setup</b> を入手・確認し、確認済みファイルを <b>XP</b> へ渡して手動更新します。証明書チェックを無効にしないでください。 |
| 17.8 | 更新前に第16節の方法で <b>machines.ini</b> をバックアップします。公式の新しい <b>Setup</b> を実行して完了を待ちます。既存一覧、パソコン設定、保存済みアクセス・ペアリング設定は保持されます。                                                                        |

## 18. 問題の確認とアンインストール

| 手順   | 操作と確認する結果                                                                                                                                                                                                |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 18.1 | 一覧が空なら、新規インストールでは第5・6節に従って登録します。 <b>Refresh status</b> は登録済み項目を調べるだけで、すべてのパソコンを自動発見・追加しません。                                                                                                              |
| 18.2 | 接続先が使えない場合、電源、ネットワーク、実際の <b>IPv4/Hostname</b> 、場所の一致、 <b>Setup</b> の完了、 <b>Agent</b> を確認し、正してから再試行します。                                                                                                   |
| 18.3 | <b>Agent</b> はオンラインでも画像がない場合、画面コンポーネントの導入と経路・ファイアウォールを確認します。インターネット経路を調べる前に同じ信頼できる <b>LAN</b> で試します。                                                                                                     |
| 18.4 | パスワードやペアリングが拒否される場合、接続先の秘密情報とこの <b>Windows</b> アカウントの保存済みペアを確認します。エラーを隠すために保護を解除しないでください。                                                                                                                |
| 18.5 | 画像やクリップボードが止まった場合、目的の <b>HD</b> を選び、必要に応じて <b>Refresh</b> 、 <b>Cancel / Clear CP</b> 、再接続を使います。取り消し後は新しい <b>Copy</b> が必要です。                                                                              |
| 18.6 | 削除前に作業を保存しセッションを閉じます。 <b>Start Menu</b> の <b>FIC Viewer</b> グループで <b>FIC Uninstall</b> または <b>Uninstall FIC Viewer</b> 、もしくは <b>Windows</b> のインストール済みアプリ項目を使います。予期される許可を承認し、 <b>XP</b> サービス削除には管理者を使います。 |
| 18.7 | アンインストールは自動起動、関連ショートカット、登録を削除し、将来の導入用に <b>machines.ini</b> を残します。重要な設定なら自分のバックアップも保持します。                                                                                                                 |